

石井清悟社長就任披露パーティ

事業承継と永続発展への決意新たに 新トップに創業者長男の石井清悟氏



三和グループ

経営のバトンを引き継いだ石井社長。これまでの功績に敬意を表し石井会長に花束を贈った



来賓代表であいさつする
浦山茂
西日本シティ銀行
代表取締役専務執行役員

乾杯のあいさつの中でグループの役員を登壇させた宮崎淳二宮崎淳二税理士事務所社長（右端）。サッカーのフォーメーションに見立て、「（石井社長を筆頭とする）ワントップを維持すべく全役員で支え合って」とエールを送った（左から亀田征吾三和エステート常務、田代雅博同専務、石井社長、石井雄MAK I HAUS社長、眞木健一同会長）



日頃の社員の労をねぎらい、勤続年数ごとにグループ分けし記念品や豪華賞品を贈った石井会長。社員からお礼のコメントを寄せられ思わず涙が緩む

不動産、通販事業などで構成する三和グループ（福岡市博多区博多駅南1丁目）の持ち株会社、三和ホールディングス（株）の社長に6月1日、創業者の石井和俊氏の長男である石井清悟（きよのり）副社長が昇格。これを受け14日、八仙閣本店で就任披露パーティーを開いた。

当日は全社員のほか、取引銀行などの来賓合わせ約140人。関係者が出席。新体制発足でグループ6社のトップとなり、父である会長から重責のバトンを託された石井社長は、「会社は社員、お客様、全てのみならずのためにあり、常に社会に必要とされる存在でなければならぬ。継続することは成長の証でもある。企業永続の礎を築くべく、まずは私自身が努力、精進し成長していきたい」と、グループのさらなる発展に向け、舵取り役としての決意を新たに示した。

（取材／迫森雅典）



石井会長、啓子夫人（最前列右から4人目）とともに集合写真に納まる社員